

秩父宮ラグビー場エントランスの 18本のイチョウについて



- ・秩父宮ラグビー場エントランスのイチョウが移植困難であるとの事業者見解の初出は、「公園まちづくり制度提案資料」2020年2月である。（資料1）
- ・東京都へ提出された環境影響評価書（2022年8月16日）では、伐採として提出されている。（資料2）
- ・その後、反対運動の高まりから、事業者は、「移植検討」（2023年1月）に変更。
- ・しかしながら、日本イコモスからの検討内容の報告の要請（2023年12月16日）に関する回答は、まだ、行なわれていない。（資料3）
- ・日本イコモスとして、再度、回答を要請する予定である。

秩父宮ラグビー場のイチョウ 移植困難に関する事業者の提出書類 資料1 2020年2月

①「公園まちづくり制度提案資料」2020年2月では、「港区道1107号線沿いの銀杏の移植は困難であると考えられる」（112頁）という検討内容となっている。

②環境影響評価書 337頁（2023年1月）では、「伐採」から「移植可」になった樹木の判断根拠について記載されているが、「移植検討」については、全く記載されていない。

□港区道1107号線沿いの銀杏の移植検討



・下記の理由により適切な根鉢確保が難しいため、港区道1107号線沿いの銀杏の移植は困難であると考えられる。

① 植栽帯方向の根系の状況

根系は根の伸長に適した土壌基盤がある植栽帯に沿って主に伸びていると考えられる。根元の肥大(写真①)から見ても、植栽帯に根が集中し、長く太く伸びている可能性が高い。

② 歩車道側の根系(写真②)の状況

歩道側及び段差のある車道側では、舗装下の碎石層等の基盤が根の伸長可能硬度を超えていると想定される。

③ 細根の適切な確保について

根回しを根系に合わせ、鉢規格、形状も可能な範囲で柔軟に行った場合においても、現状の樹形、樹体を維持できる細根成長が期待できるか不明である。そのため、移植前の根回し時に枯れる場合や、移植活着しても樹体全てが維持できず、樹形の一部枯死も起こり得る。

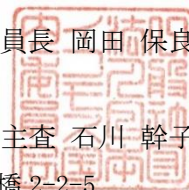


ICOMOS Japan
c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

令和5年 12月26日

東京都知事 小池 百合子様
東京都都議会議長 宇田川 聡史様
東京都環境影響評価審議会会長 柳 憲一郎様
三井不動産株式会社代表取締役社長 植田 俊様
宗教法人明治神宮宮司 九條 道成様
伊藤忠商事株式会社代表取締役社長 石井 敬太様
独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 芦立 訓様

(一社) 日本イコモス国内委員会委員長 岡田 保良
(一社) 日本イコモス国内委員会
文化的景観小委員会主査 石川 幹子
住所： 東京都千代田区一ツ橋 2-2-5
岩波書店一ツ橋ビル 13F
(株)文化財保存計画協会 気付
法人名：(一社) 日本イコモス国内委員会
連絡先：Tel/Fax 03-3261-5303
Email jpicomos@japan-icomos.org



「神宮外苑地区市街地再開発事業環境影響評価書」におけるイチョウ並木の現況調査
に関する虚偽の報告、及び事業に伴う環境影響評価の欠落に関する、
東京都環境影響評価審議会における科学的、公明正大な審議と再審の要請

市街地再開発事業が進められている神宮外苑は、世界に誇る文化的資産 (Cultural Heritage) です。現在、神宮外苑を象徴するイチョウ並木で、地球温暖化に伴う気象変化に加えて不適切な土地利用が原因と推測される、深刻なイチョウの衰退が進行しています。この問題は、日本イコモスが指摘し、また事業者におかれましても、「認識していた」と回答されています。しかしながら、2023年1月20日に提出、受理された環境影響評価書では、審議会委員からの度重なる要請を踏まえて2022年春に追加調査が実施されたにも関わらず、イチョウ並木に関しては5年前のデータがそのまま提出され、見直されることはありませんでした。2023年12月末に至っても事業者からの報告は全く行われていません。

環境影響評価書における、①イチョウの現状分析における虚偽の記載、②野球場建設による影響の分析、及びこれに基づく緩和・回避策の欠落、③根系調査の非公開、④「移植不可」



ICOMOS Japan
c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

と判断されている秩父宮ラグビー場のイチョウの対応等の根本的問題が明らかにされていないため、東京都環境影響評価審議会の再審が必要と考えます。

日本イコモス国内委員会は、環境影響評価法の精神に基づき、事後報告ではなく、正しい現況分析と影響評価が行われるべきであるとの主旨から、令和4年11月～令和5年11月にイチョウ並木（146本）の調査をおこないました。その結果、令和4年には著しい衰退がみられるイチョウは1本、要注意と判断されるイチョウは5本でしたが、令和5年には衰退が更に進み4本に増大し、要注意のイチョウは4本となっていることが明らかになりました。これは、並木沿道の人的利用の影響に加えて、東京においては、2023年には、観測史上、はじめての猛暑日の連続を記録しており、地球温暖化の影響がイチョウに顕著に表れているものと考えられます。

今後、再開発が進展し、イチョウの直近に神宮球場が建設され、水循環が遮断され、日照、通風条件が悪化すれば、イチョウ並木の永続的保全は、極めて困難になると推察されます。

事業者におかれましては、イコモス（International Council on Monuments and Sites : 国際記念物遺跡会議）が、2023年9月7日に発した「ヘリテージ・アラート」[Heritage Alert Jingu Gaien - International Council on Monuments and Sites \(icomos.org\)](https://www.icomos.org/jingu-gaien-icomos) に、真摯に回答されることを要望いたします。

東京都知事小池百合子様におかれましては、東京都環境影響評価条例第九十一条第一項第五号の規定に基づき、当該事業者に対し、必要な措置を講ずるよう勧告をお願い申し上げます。また、事後報告ではなく、環境影響評価審議会の再審を要請致します。

環境影響審議会において再審が行われ、多くの市民が納得できる公明正大な科学的論議が尽くされるまで、「大量の樹木の伐採」は行わないよう、事業者への指導をお願い申し上げます。

敬具

<追記>

イチョウの現況調査、「移植検討」（秩父宮ラグビー場）、根基調査等につきましては、これまで十分な時間があり、また、再三の要請を行ってまいりましたので、2024年1月20日までに、御回答を賜りたく、お願い申し上げます。

以下、秩父宮ラグビー場エントランスのいちょうに関する検討内容の要請書のみ 抜粋



目次

1. イチョウ並木の調査内容（2022年11月～2023年11月）	5
(1) 調査の目的	
(2) 調査の方法	
(3) イチョウの位置と番号	
(4) 市街地再開発事業が「イチョウ並木」へ与える影響	
(5) 地球温暖化に伴う猛暑日の増加とイチョウへの生育への影響	
2. 環境影響評価書におけるイチョウのデータ（2023年1月20日提出）と 著しく異なるイチョウについて（2022年4月～2023年11月）	11
(1) 環境影響評価書（2023年1月20日提出）における記載内容	11
(2) 環境影響評価書における樹木調査の内容	12
(3) 衰退の著しいイチョウ	13
1) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）11番のイチョウ	
2) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）16番のイチョウ	
3) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）18番のイチョウ	
4) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）22番のイチョウ	
(4) 衰退の兆候がみられ、慎重な経過観察が必要なイチョウ	26
1) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）12番のイチョウ	
2) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）17番のイチョウ	
3) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）20番のイチョウ	
4) 青山口から絵画館にむかって左から2列目（B列）26番のイチョウ	
(5) 樹形の変容が顕著となっているイチョウ	30
1) 青山口から絵画館にむかって一番左側の列（A列）29番のイチョウ	
2) 青山口から絵画館にむかって左から3列目（C列）13番のイチョウ	
3. 環境影響評価書では「移植不可能」と判断されている港区道1107号線（秩父宮ラグビー場入口）のイチョウ	32
(1) 港区道1107号線（秩父宮ラグビー場エントランスの並木）のイチョウの現状と 「移植検討」の内容の公開の要請	32
1) 港区道1107号線（秩父宮ラグビー場エントランスの並木）E列1番のイチョウ	
2) 港区道1107号線（秩父宮ラグビー場エントランスの並木）E列2番のイチョウ	



ICOMOS Japan

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

- 3) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 3 番のイチョウ
 - 4) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 4 番のイチョウ
 - 5) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 5 番のイチョウ
 - 6) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 6 番のイチョウ
 - 7) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 7 番のイチョウ
 - 8) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 8 番のイチョウ
 - 9) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 9 番のイチョウ
 - 10) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 10 番のイチョウ
 - 11) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 11 番のイチョウ
 - 12) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 12 番のイチョウ
 - 13) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 13 番のイチョウ
 - 14) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 14 番のイチョウ
 - 15) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 15 番のイチョウ
 - 16) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 16 番のイチョウ
 - 17) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 17 番のイチョウ
 - 18) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 18 番のイチョウ
- (2) イチョウの仮移植地と土壌の内容の公表の要請-----52
- (3) 最終の植栽地 (中央広場) における移植樹木の正しい樹幹、樹種が判読できる図面の公開の要請。18 本のイチョウの位置の明示と公表の要請-----52
4. 市街地再開発事業に伴い、想定される影響-----53
- (1) 神宮球場の建設に伴う影響-----53
 - (2) 文化交流棟の建設に伴う影響-----53
 - (3) 再開発による近代の名作・神宮外苑のヴィスタ景の破壊-----54
5. むすび-----56



3. 環境影響評価書では「移植不可能」と判断されている港区道 1107 号線（秩父宮ラグビー場入口）のイチョウについて

(1) 港区道 1107 号線（秩父宮ラグビー場エントランスの並木）のイチョウの現状と「移植検討」の内容の公開の要請

4 列のイチョウ並木の青山口から、左手に分岐する 2 列 18 本のイチョウ並木は、明治神宮が掲げておられる碑文にも明示されているように、折下吉延先生が育てられた同じ苗木から成長したもので「兄弟木」と言われています。

戦前は、女子学習院の正門に至る並木道で、正門前には、イチョウに加え、天然記念物として名高かったヒトツバタゴやスダジイが植栽され風格のある景観を形づくっていました。今般の市街地再開発事業により、当該地は、神宮球場として計画されているため、イチョウ並木は存続することが許されない計画となっており、当初は、すべて「伐採」でしたが、世論の大きな反対運動の展開から、現在は「移植検討」とされ、中央広場への移植が計画されています。

しかしながら、2023 年 2 月に施行認可がございましたが、「移植検討」の内容は、全く開示されておりません。これは、本来、検討結果が開示され、環境影響評価審議会で検討を行うべき重要課題であり、決して「事後報告」として報告される課題ではありません。

日本イコモス国内委員会は、環境影響評価書（2023 年 1 月 20 日）では、すべて「移植不可」と診断されている 18 本のイチョウについて、どのような検討が行われているのか、緊急に情報の開示が必要であると考えます。イチョウは、均一ではなく、1 本 1 本異なっています。このため、個別のデータシートを作成しておりますので、現状を踏まえて「移植検討」の内容について、事業者からの報告を公表していただきたく、お願い申し上げます。また、移植の具体的方法、仮植場所、中央広場における最終的計画図を判読可能な縮尺で御提示ください。環境影響評価書に記載されている計画図は、弓なりのイチョウ並木の大きさが過少に描かれており、隣接する移植木と競合する配置となっております。判読可能な図面を提示されますことは、環境影響評価書の基本であると存じます。

なお、18 本のイチョウ並木の番号は、毎木調査の番号も記載いたしますが、図 5 の通り E 列 1～18 番としてデータシートをまとめました（2022 年 11 月調査）。

恐縮ですが、事業者からの御回答は、2024 年 1 月 20 日までにお願ひ申し上げます。



図 5 港区道 1107 号線のイチョウ並木の番号



ICOMOS Japan

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

なお、環境影響評価書（2023年1月20日）には、18本のイチョウは、すべて「移植検討」と記載されていますが、データシートにおける樹木医の診断の項は、「移植不可」となっています。現時点で、公開されている内容は、以下の2点のみです。

- ①「公園まちづくり制度提案資料」2020年2月では、「港区道1107号線沿いの銀杏の移植は困難であると考えられる」（112頁）という検討内容となっています。
- ②環境影響評価書 337頁では、「伐採」から「移植可」になった樹木の判断根拠について記載されているが、「移植検討」については、全く記載されていません。

□港区道1107号線沿いの銀杏の移植検討



写真①



写真②

・下記の理由により適切な根鉢確保が難しいため、港区道1107号線沿いの銀杏の移植は困難であると考えられる。

① 植栽帯方向の根系の状況

根系は根の伸長に適した土壌基盤がある植栽帯に沿って主に伸びていると考えられる。根元の肥大(写真①)から見ても、植栽帯に根が集中し、長く太く伸びている可能性が高い。

② 歩車道側の根系(写真②)の状況

歩道側及び段差のある車道側では、舗装下の碎石層等の基盤が根の伸長可能硬度を超えていると想定される。

③ 細根の適切な確保について

根回しを根系に合わせ、鉢規格、形状も可能な範囲で柔軟に行った場合においても、現状の樹形、樹体を維持できる細根成長が期待できるか不明である。そのため、移植前の根回し時に枯れる場合や、移植活着しても樹体全てが維持できず、樹形の一部枯死も起こり得る。







引用：「公園まちづくり制度提案資料」2020年2月 112頁

1) 港区道 1107 号線（秩父宮ラグビー場エントランスの並木）E 列 1 番のイチョウ

表 17 E-1 番のイチョウ（毎木調査番号 B-11）

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-1 毎木調査 11	20.0	305	10.0	b 良好

- ・ 秩父宮ラグビー場へのエントランスとなっている2列の銀杏並木の入り口に位置する。事業者計画では移植の対象樹木となっている。
- ・ 大枝に腐朽がみられ、全体の生理的バランスが崩れている。
- ・ 樹木の先端が、痛んでいる。これは、根からの水分の吸収が不均衡になっているため生じている現象である。
- ・ 移植にあたっては、太い枝を切らないと無理である。移植先がどこかが鍵となる。
- ・ 方位に合わせて、現在の樹形が100年の歳月をかけて形成された。
- ・ 大きく樹木のバランスを損なわないためには、場内移植で、「たて引き」が必要である。

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。（御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。）

御回答記入欄（E-1,毎木調査番号 B-11）



2) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 2 番のイチョウ
 表 18 E-2 番のイチョウ (毎木調査番号 B-12)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-2 事業名調査番号 B-12	20.0	232	10.0	a+ 健全



- ・ 外苑青山駐車場の入り口に位置する。
- ・ 樹形：良好、樹勢：良好
- ・ 陽当たりがよいため、光合成が活発に行われている。しかし、水分の供給量が、少ないため、黄葉が早くなっている。
- ・ 水分が十分に供給されていれば、黄葉は遅くなるはず。
- ・ 移植にあたっては、大枝を伐採する必要があり、樹形は大きく変化する。





環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 204 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-2, 毎木調査番号 B-12)



3) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 3 番のイチョウ

表 19 E-3 番のイチョウ (毎木調査番号 B-13)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場への アプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-3 事業者調査番号 B-13	20.0	241	10.0	a+ 健全

	<ul style="list-style-type: none">・ 樹形：良好・ 樹勢：良好・ 梢先端：良好	
		

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-3, 毎木調査番号 B-13)



4) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 4 番のイチョウ

表 20 E-4 番のイチョウ (毎木調査番号 B-14)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-4 事業名調査番号 14	20.0	260	10.0	a+ 健全

	<ul style="list-style-type: none">・ 樹勢幹：良好・ 駐車場側が測定されており 樹形がバランスを欠いて いる。・ 枝の伸長量、全体にすく ない	
		

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-4, 毎木調査番号 B-14)



5) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 5 番のイチョウ

表 21 E-5 番のイチョウ (毎木調査番号 B-15)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-5 事業者調査番号 15	20.0	263	10.0	a+ 健全

- ・ 樹形、樹勢、良好
- ・ 梢 良好
- ・ 駐車場側、剪定による樹形のバランスが崩れている。
- ・ 枝に、乳があることが特色

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-5,毎木調査番号 B-15)




ICOMOS Japan
c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

6) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 6 番のイチョウ

表 22 E-6 番のイチョウ (毎木調査番号 B-16)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-6 事業者調査番号 16	20.0	248	10.0	a+ 健全

- ・ 樹形：良好
- ・ 樹勢：良好。
- ・ 先端部：良好
- ・ 剪定により樹形のバランスが崩れている。



環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)


御回答記入欄 (E-6, 毎木調査番号 B-16)




7) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 7 番のイチョウ


表 23 E-7 番のイチョウ (毎木調査番号 B-17)


並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-7 事業者調査番号 17	20.0	268	10.0	a- 健全



- ・ 幹から分岐した枝が上方を向く、直立型のいちょう
- ・ 円錐形 良い樹形
- ・ 幹に保護シートあり







環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-7,毎木調査番号 B-17)



8) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 8 番のイチョウ

表 24 E-8 番のイチョウ (毎木調査番号 B-18)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-8 事業者調査番号 18	20.0	249	10.0	a+ 健全

	<ul style="list-style-type: none">・ 樹形・樹勢、良好・ 乳がある・ 先端部、良好	
		

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)





御回答記入欄 (E-8, 毎木調査番号 B-18)



9) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 9 番のイチョウ

表 25 E-9 番のイチョウ (毎木調査番号 B-19)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-9 事業者調査番号 19	20.0	249	10.0	a+ 健全

	<ul style="list-style-type: none">ラグビー場入口。南東部の黄葉が進んでいる。隔当たりがよいために、樹形・樹勢が優れている。先端部も良好である。	
		

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-9,毎木調査番号 B-19)




ICOMOS Japan
c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

10) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 10 番のイチョウ

表 25 E-10 番のイチョウ (毎木調査番号 B-20)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-10 事業者調査番号 20	20.0	298	10.0	a+ 健全

・ ラグビー場入口
・ 樹形・樹勢 良好
・ 先端部も、良好



環境影響評価書では、活力度は B となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)






御回答記入欄 (E-10,毎木調査番号 B-20)



11) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 11 番のイチョウ

表 26 E-11 番のイチョウ (毎木調査番号 B-21)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-11 事業者調査番号 21	20.0	259	10.0	a- 健全

	<ul style="list-style-type: none">不定根の誘導処置が行なわれている。樹形、葉の形が少し、小さい幹、補修が必要	
		

環境影響評価書では、活力度は B となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)





御回答記入欄 (E-11, 毎木調査番号 B-21)



12) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 12 番のイチョウ

表 27 E-12 番のイチョウ (毎木調査番号 B-22)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-12 事業者調査番号 22	20.0	231	10.0	a 健全



- ・ 枝が上にむくタイプのいちょう
- ・ 樹形：良好
- ・ 樹勢：良好
- ・ 先端部：良好

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)


御回答記入欄 (E-12, 毎木調査番号 B-22)




13) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 13 番のイチョウ


表 28 E-13 番のイチョウ (毎木調査番号 B-23)


並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-13 事業者調査番号 23	20.0	263	10.0	a+ 健全




- ・ 樹形・樹勢ともに優れている。
- ・ 葉のつき方のバランスよい。
- ・ 先端部：良好。
- ・ 枝下の傷は、大きくなる前に処置が必要。









環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)


御回答記入欄 (E-13,毎木調査番号 B-23)



14) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 14 番のイチョウ

表 29 E-14 番のイチョウ (毎木調査番号 B-24)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-14 事業者調査番号 24	20.0	224	10.0	a 健全



- ・ 樹形:良好
- ・ 樹勢:良好
- ・ 先端部:良好

環境影響評価書では、活力度は B となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-14,毎木調査番号 B-24)



ICOMOS Japan
c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

15) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 15 番のイチョウ

表 30 E-15 番のイチョウ (毎木調査番号 B-25)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-15 事業者調査番号 25	20.0	220	10.0	a 健全

・ 樹形：良好 ・ 樹勢：良好。
・ 枝・幹・枝葉の密度：良好。
・ 藓苔類がついている。



環境影響評価書では、活力度は B となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-15, 毎木調査番号 B-25)



16) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 16 番のイチョウ

表 31 E-16 番のイチョウ (毎木調査番号 B-26)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-16 事業者調査番号 26	20.0	211	10.0	a 健全

	<ul style="list-style-type: none">・ 樹形：良好 ・ 樹勢：良好。・ 枝・幹・枝葉の密度：良好。・ 先端部：良好	
		

環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-16, 毎木調査番号 B-26)



17) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 17 番のイチョウ

表 32 E-17 番のイチョウ (毎木調査番号 B-27)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-17 事業者調査番号 27	20.0	205	10.0	a+ 健全



- ・ 樹形：良好
- ・ 樹勢：良好
- ・ 枝・伸長量：良好
- ・ 樹形の円錐形が維持されている。
- ・ 枝・幹・枝葉の密度：良好。




環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-17,毎木調査番号 B-27)




18) 港区道 1107 号線 (秩父宮ラグビー場エントランスの並木) E 列 18 番のイチョウ

表 33 E-18 番のイチョウ (毎木調査番号 B-28)

並木 E 列 (秩父宮ラグビー場 へのアプローチ)	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	評価
E-18 事業者調査番号 28	23.0	271	10.0	a+ 健全

・ 樹勢・樹形 良好
・ 先端部 良好。
・ 先端部から黄葉が始まっている。



環境影響評価書では、活力度は A となっています。移植は「不可」。理由は、「幅 1.5m の狭い植栽帯に根系充満。根鉢確保困難」と記載されています。評価書提出より、1 年が経過していますので、現時点での検討内容の公表をお願いいたします。(御回答は 2024 年 1 月 20 日までに、お願いいたします。)

御回答記入欄 (E-18, 毎木調査番号 B-28)